



はじめに

「調べる」では、検索する際の様々な検索方法、情報の信頼性の見きわめ方、心当たりのないメッセージが表示されたときの対応など、情報を調べるときの基礎的な内容を学びます。調べ活動は、もっとも利用されている端末活用のひとつだと思います。効果的な情報の検索方法を学び、学習外での利用を再考し、突然のメッセージに騙されないようにするために、ぜひ調べ学習の前にご活用ください。

しら 調べる

ネット上には様々なじょうほうがあり、たんまつを使うとそれらのじょうほうを調べることができます。ここでは、ネットを使って調べるときに知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。

ざいしよにチェックしてみよう

- わたしは、じやうず 上手なけんさく ほうほうについて知っていると 思う
- わたしは、どのほうで調べればよいかかわかると 思う
- わたしは、たんまつで見てもよいサイトかどうかをはんだんできると 思う
- わたしは、とつぜんメッセージが表示されたときに、きちんと対応できると 思う

44

上手なけんさく ほうほうを学ぼう

調べる # 活用スキル # 実技 # 消費者 # つくり手

ここでは検索の基本となる「アンド検索」について学びます。「くだもの」を例として、スペースを空けながらキーワードを入力すると、検索結果が絞り込まれていく様子を実感させてほしいと思います。特に、画像検索を行うと、いろいろな写真が出てきますので、検索方法によって結果が違うということを目で理解しやすくなります。

じやうず 上手なけんさく ほうほうを学ぼう

次の3つのほうほうで かんさうけんさく をしてみましょう。どんなちがいがあてしょうか？

| けんさくワード | けんさくけっか |
|-------------|---------|
| くだもの | |
| くだもの きいろ | |
| くだもの きいろ ほし | |

どの方法で調べたらよいのかな

調べる # 活用スキル # 複数選択 # 消費者

調べ学習では、「何を使って」「どのように」調べるかが重要となります。本教材では、図鑑、インタビュー、新聞を扱い、それぞれの良さを比較させることで、「何を使って」について学ぶことができます。もちろんインターネットで調べられることもできますが、発達段階によっては、インターネットの場合、情報量が多すぎてどの情報が大切なのかわかりにくいことやすべての情報が正しいというわけではないことに注意が必要です。

どのほうほうで調べたらよいのかな

次のことを調べる場合、どのほうほうで調べたらべりでしょうか？

1

となりの かいでおきた きのうの出来事を 知りたいとき

2

花の写真を みたいとき

3

地いきのスーパーの 工夫を知りたいとき

A

図かん

B

インタビュー

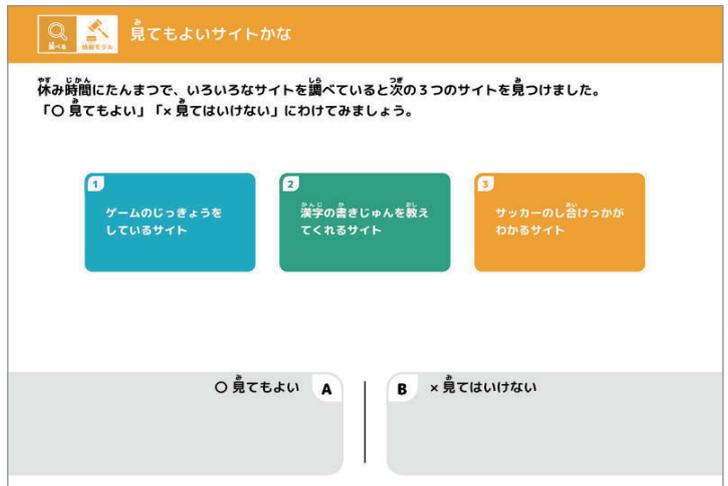
C

新聞

見てもよいサイトかな

情報を検索していると、様々なサイトを見つけることができます。しかし、それが学校で見てもよいサイトなのかどうかを判断する力を身につけないと、学習とは関係のないサイトを見てしまうことになります。こうした「どのサイトを学校で見てもよいか」についての正解はありません。クラスで議論し、どこまでを見てもよいサイトなのかのルールを決めるとよいでしょう。

調べる # 情報モラル # 2分類 # 消費者 # 学習外での利用



見てもよいサイトかな

休み時間にたんまつで、いろいろなサイトを調べていると次の3つのサイトを見つけました。
「〇見てもよい」「×見てはいけない」にわけてみましょう。

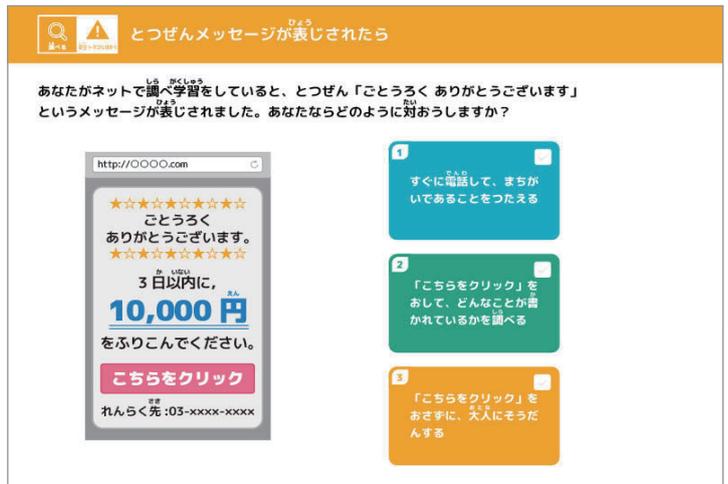
- 1 ゲームのじっきょうをしているサイト
- 2 漢字の書きじゅんを教えてくれるサイト
- 3 サッカーのしあひかがわかるサイト

〇 見てもよい A | B × 見てはいけない

とつぜんメッセージが表示されたら

情報を検索していると、もしかすると個人情報の漏洩や架空請求につながるサイトにアクセスしてしまう可能性もあります。「登録ありがとうございます」という表示は、古典的な手口ですが、つつい焦ってしまい、こちらから電話をしたり、情報を集めようとしてしまいます。そのようなときは、慌てずに、電話をしたり、クリックしたりせずに、大人に相談することを意識させます。

調べる # 情報セキュリティ・トラブル対応 # 1つ選択 # 消費者 # 個人情報の漏洩 # 架空請求



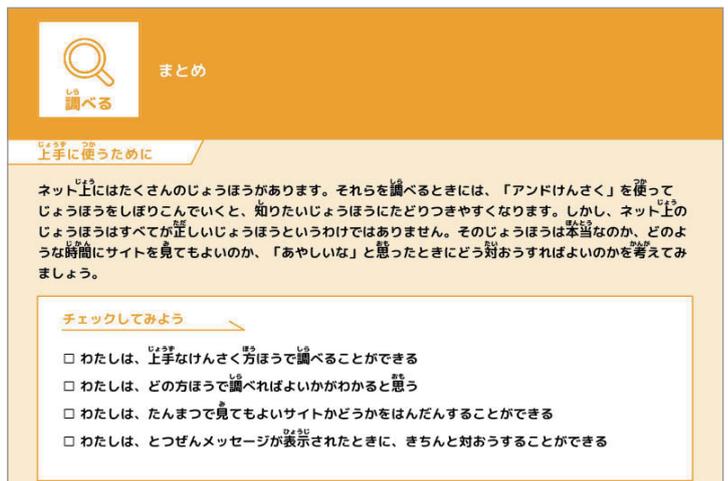
とつぜんメッセージが表示されたら

あなたがネットで調べ学習をしていると、とつぜん「ご利用ありがとうございます」というメッセージが表示されました。あなたならどのように対応しますか？

- 1 すぐに電話して、まちがいであることをつたえる
- 2 「こちらをクリック」をおして、どんなことが言われているかを調べる
- 3 「こちらをクリック」をおさずに、大人にそうだんする

まとめ

調べる際には、たくさん情報から「アンドけんさく」を使って情報をしぼりこんでいく力が必要になります。さらに、その情報が「本当に正しいのかな」と疑う力、端末を使ってよい時間なのかどうかを判断する力、「あやしいな」と思ったときにきちんと対応する力を育てていくことで、子どもたちの自律的な力を育ててほしいと思います。



まとめ

ネット上にはたくさんのじょうほうがあります。それらを調べるときには、「アンドけんさく」を使ってじょうほうをしぼりこんでいくと、知りたいじょうほうにたどりつきやすくなります。しかし、ネット上のじょうほうはすべてが正しいじょうほうというわけではありません。そのじょうほうは本当なのか、どのような時間にサイトを見てもよいか、「あやしいな」と思ったときにどう対応すればよいかを考えてみましょう。

チェックしてみよう

- わたしは、上手なけんさく方ほうで調べることができる
- わたしは、どの方ほうで調べればよいかかわかると思う
- わたしは、たんまつで見てもよいサイトかどうかをかんたんすることができる
- わたしは、とつぜんメッセージが表示されたときに、きちんと対応することができる



考える

はじめに

「考える」では、データの保存方法、目の健康、端末を使う時や使わないときの使い分けなど、情報を使って考える時の基礎的な内容を学びます。特に、わからないことを端末を使って考えようとする、ついつい自分の頭で考える前に検索して、答えを知ろうとしてしまいがちです。まずは自分の頭で考えることの重要性にも気づかせてほしいと思います。



たんまつを使うと、いろいろなし点で考えたり、調べたことをまとめたりするなど、考えることを助けてくれます。ここでは、たんまつを使って考えるときに知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。

ざいしょにチェックしてみよう

- わたしは、いろいろなデータを上手にほぞんできると思う
- わたしは、調べたじょうほうを整理することができると思う
- わたしは、目のけんこうを守って使っていると思う
- わたしは、まずは自分の頭で考えてからたんまつを使って調べていると思う

54

じょうほうを上手にほぞんしよう

考える # 活用スキル # 2分類以上 # 消費者

情報を上手に保存するためには、まず包括関係や階層構造を理解する必要があります。ここでは「そのファイルと関係しそうなものはどれか」と考えさせることで、包括関係や階層構造を学びます。日常生活と同じように、ファイルもきちんと整理し、フォルダにしまっておくことで、次に使いやすくなるということを意識させます。


じょうほうを上手にほぞんしよう

たんまつにいろいろなデータがあります。このデータをどのフォルダにほぞんするとよいでしょうか。

1 けいさんプリント

2 あさがおの写真

3 漢字プリント

4 さか上がりをしてる動画

算数のフォルダ

国語のフォルダ

画像のフォルダ

調べたことを整理しよう

考える # 活用スキル # 2分類以上 # 消費者

調べた情報を整理して分析するためには、表にすると便利です。本教材では、基本的な表での情報の整理の仕方について学びます。表で整理する前に、「どの食べ物が一番多いかな?」「ランキングをつくるとしたら、どの順番になるだろう?」と聞いてみると、整理しないと情報がわかりにくいこと、そして表にして情報を整理することの良さが実感できます。


調べたことを整理しよう

「好きな食べ物」について、10人の友だちにインタビューをしたところ、次のようなけっかになりました。

おすし



ラーメン



からあげ



ラーメン



からあげ



ラーメン



からあげ



カレー



おすし



ラーメン



調べたけっかを表で整理してみましょう。

| | | | | |
|--------|-----|--|--|--|
| 好きな食べ物 | おすし | | | |
| 人数 | 2 | | | |



考える

目のけんこうを守ろう

端末を使う機会が多くなればなるほど、心配になるのが目の健康への影響です。30cm以上離す、30分に1回は休憩するなどが重要ですが、この30cmという距離の感覚が身体化されていないと、「自分はできている」と思っている、近い距離で見ていることがあります。30cmという距離の感覚を身体化させるためにも、実際に試して測ってみるということを繰り返し実践してほしいと思います。

考える # 情報モラル # 実技 # 消費者 # 目の健康

目のけんこうを守ろう

次のことをじっさいにやってみましょう。

① たんまつを持って、ふだん使っているしせいになりましょう。
② 目からたんまつまでのきよりははかってみましょう。

わからない時にどうすればよいか

わからないことがあったときに端末を使って調べることは重要ですが、これだけをしてしまうことで、「考える前に答えを見つける」という思考になってしまいがちです。できれば、すぐに調べたり、他人に聞いたりする前に、まずは自分の頭で考えて答えを予想してから、調べたり、他人に聞いてみたりするということの重要性を意識させます。

考える # 情報セキュリティ・トラブル対応 # 1つ選択 # 消費者

わからない時にどうすればよいか

あなたは、「キリンの首はなぜ長いのだろう？」とふしぎに思いました。あなたはこれとどのように行動しますか？ 次の中から1つえらんでください。

- すぐにたんまつで調べる
- まずは予想してみる
- すぐにまわりの大人に聞いてみる

まとめ

端末は「考える」際に非常に有効な手段です。しかし、「考える」ときは、データをきちんと整理して保存したり、目の健康に配慮したり、まずは自分の頭で考えたりということが基礎になってきます。特に、なんでも端末を使うことがICTを意欲的に使う姿ではなく、まずは自分の頭で考えるという「ICTを使わないこと」もICT活用のポイントになります。

まとめ

「考える」ためには、じょうほうを整理しておくことが大切です。きちんとほぞんし、いつでも取り出せるようにしましょう。また、目のけんこうを守りながら使うことも大切です。特に、集中して使っているときこそ、目ははなして使っているかをチェックしてみましょう。

チェックしてみよう

- わたしは、いろいろなデータを上手にほぞんすることができる
- わたしは、調べたじょうほうを整理することができる
- わたしは、目のけんこうを守って使うことができる
- わたしは、まずは自分の頭で考えてからたんまつを使って調べることができる



共有する

はじめに

「共有する」では、上手な発表方法、上手な聞き方、作品に落書きされたときなど、情報を誰かと共有するときの基礎的な内容を学びます。特に、「共有」は、端末活用のメリットをもっとも発揮できる活動です。ぜひ上手な共有方法やそこでのトラブルを防ぐ方法をご活用ください。

共有する

たんまつを使うと、いろいろなじょうほうを友だちと共有したり、まとめたことをわかりやすく発表したりすることができます。ここでは、たんまつを使って共有したり、発表したりするとき知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。

ざいしよにチェックしてみよう

- わたしは、たんまつを使って上手に発表できると思う
- わたしは、感想を具体的に伝えることができると思う
- わたしは、友だちの発表をきちんと聞いていると思う
- わたしは、自分の作品が勝手に書きこまれたとき、きちんと対おうできると思う

64

上手な発表方法を学ぼう

端末を使って発表する際、どうしても端末を見ながら発表してしまうことがあります。友達に意見を聞いてもらうためには、「何を話すか」はもちろんですが、「相手に伝えようとする態度」も重要になります。本教材を用いて、体の向きや声の大きさ、話すはやさなど、「上手な発表とは何か」を考えさせてほしいと思います。

共有する # 活用スキル # 並び替え # 消費者

上手な発表方法を学ぼう

たんまつを使った発表の様子です。クラスの前で発表しています。上手な発表だと思っじゅんにならべてみましょう。

1

ずっとたんまつを見て発表している

2

聴いている人を見て発表している

3

モニターを見て発表している

とても上手

←

→

上手ではない

感想を伝えよう

感想を共有する場合、どうしても「おいしかったです」「いろいろなことがわかりました」のように、具体性に欠ける感想で終わってしまう場合があります。本教材では、「特に、」と続けて書かせることで、具体的な内容を書く練習をします。「相手がどのようなことを知りたいのか」という相手意識を持たせることで、具体的に情報を共有することの重要性に気づかせることがポイントです。

共有する # 活用スキル # 自由記述 # 消費者

感想をつたえよう

きゅういを作ってくれた人に向けて、今日のきゅういのカレーの感想をつたえることになりました。

れい

今日のきゅうい、おいしかったです。

上の感想を、よりよく伝えるように工夫してみましょう。どんなことをつけ加えると、よい感想になるでしょうか。

今日のきゅうい、おいしかったです。とくに、

上手に聞けているかな？

端末が手元にあることで、友達の発表を聞くときに端末を触っていたり、友達に話しかけたりしてしまうことがあります。もちろん、発表を聞く際には端末を閉じる、使えないようにするなどのルールや技術的な工夫も大切ですが、発表者の気持ちを考えた上で、「上手な聞き方とは何か」についても考えさせてほしいと思います。

共有する # 情報モラル # イラスト # 消費者 # 学習外での利用

上手に聞けているかな

次のイラストで、発表の聞き方について気になるところに○をつけましょう。

勝手に書き込まれたら

端末で共有することで、クラスの他の人の作品を自由に見ることができます。しかし、なかには勝手に友達の作品に落書きをしてしまう人も出てきます。その時には、先生に相談することはもちろん、落書きをきちんと記録しておくことも重要です。スクリーンショットの方法を教え、なかにかあったらスクリーンショットで様子を保存しておくことを意識させます。

共有する # 情報セキュリティ・トラブル対応 # 2分類 # 消費者 # 勝手な書き込み

勝手に書き込まれたら

自分の作った作品を、みんなが見られるように公開したところ、その作品に落書きをされてしまいました。あなたならどのように対応しますか。次の3つの行動を「○やった方がよい」「×やらない方がよい」にわけてみましょう。

- 1 くやしいので他の人の作品に落書きする
- 2 その落書きの様子を記録しておく
- 3 落書きされたことを先生にそつだんする

○ やった方がよい **A** | **B** × やらない方がよい

まとめ

端末を使って共有や発表をする際には、相手のことを意識する必要があります。相手のことを意識しながら発表すること、聞くことの重要性を考えさせてください。また、コミュニケーションの基礎を学ぶために、ぜひ45分版の「自分と相手とのちがひ」も活用をご検討ください。

まとめ

上手に使うために

たんまつを使って「きょう有」や「発表」を行う場合には、相手のことをいしきするひつようがあります。どんな人がこのようほうを受けとるのかを想そうしながら、「どうすれば相手につわりやすいかな」ということを考え、くふうしてみましょう。

チェックしてみよう

- わたしは、たんまつを使って上手に発表することができる
- わたしは、感想を具体的に伝えることができる
- わたしは、なだちの発表をきちんと聞くことができる
- わたしは、自分の作品に勝手に書き込まれたとき、きちんと対応することができる



はじめに

「つくる」では、上手なスライドのデザインの方法、著作権やトラブルへの対応など、端末を使って何かをつくるときの基礎的な内容を学びます。特に、端末を使ってスライドやWEBサイトなどを自由に作れるようになったからこそ、他者の著作権をきちんと守ることはもちろん、自分の著作権をきちんと守ることも重要になります。



つくる

たんまつを使うと、いろいろなアイデアをあげたり、友だちと一っしょにしりょうをつくらったりすることができます。

ここでは、たんまつを使って何かをつくるときに知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。

さいしょにチェックしてみよう

- わたしは、スライドを上手にデザインすることができると思う
- わたしは、伝えたいことを整理して発表資料をつくることができると思う
- わたしは、作品をつくるときに、どんなことに気をつければよいかを知っていると思う
- わたしは、たんまつが動かなくなったときに、きちんと対応できると思う

74

上手なデザインの方ほうを学ぼう

つくる # 活用スキル # 並び替え # 消費者

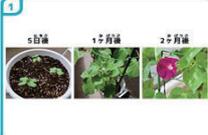
本教材では、わかりやすく、見やすい資料をつくる際のポイントについて学びます。文字だけで伝えるよりも写真を入れた方がわかりやすくなることや、変化を伝えるためには、何枚かの写真を使うとわかりやすくなることを学びます。「写真を撮る」の教材と合わせて学習することで、相手に伝わりやすいスライドを作ることができます。



上手なデザインの方ほうを学ぼう

クラスメイトに、あさがおのせい長の様子をしようかします。どのスライドがわかりやすいでしょうか。わかりやすいじゅんにならべましょう。

1



何まいかの写真をのせたスライド

2



写真だけをのせたスライド

3

あさがおが
たくさんの花を
さかせました。

文字だけで説明したスライド

つたわりやすい

←————→

つたわりにくい

伝えたいことを整理しよう

つくる # 活用スキル # 自由記述 # 消費者

本教材は、発表資料をつくる前に、調べたことやわかったことをまとめる際に使います。どこに行ったか、いつ行ったかという基本的な5W1Hを書くだけでなく、「おどろいたこと」や「はじめて知ったこと」も書けるように、入力欄を大きくしています。発表を聞く相手を意識させ、発表資料をつくる際に、こうした「おどろいたこと」や「はじめて知ったこと」を入れることの良さに気づかせることが重要です。



伝えたいことを整理しよう

学校や地いきをたんけんして、わかったことを発表するしりょうをつくります。しりょうを作る前に、まずはわかったことをまとめることにしました。空いているところに、わかったことを記入してみましょう。

| | | |
|---|-------------------|--|
| 1 | どこにたんけんにいきましたか？ | |
| 2 | いつたんけんにいきましたか？ | |
| 3 | 楽しかった場所はどこですか？ | |
| 4 | おどろいたことはなんですか？ | |
| 5 | はじめて知ったことは、なんですか？ | |



つくる

マネしてもよいのかな

本教材では、友達作品やネットに公開されている作品は、基本的にはきちんと許可を取る必要があることを学びます。「もし、自分の作品が勝手にマネされたらどう思うかな」ということを押さえたうえで、「著作権」（自分で工夫して表現した作品を守る権利）について説明し、他者の権利や自分の権利を尊重することの重要性を意識させます。

つくる # 情報モラル # 2分類 # 消費者 # 著作権の侵害

マネしてもよいのかな

図工のじゅ業で、絵をかくことになりました。
次の3つの行動を、「○問題はない」「×問題がある」にわけてみましょう。

- 1 友だちの絵が上手だったので、すべてマネしてかいて、先生に提出した
- 2 ネットで見つけた絵が上手だったので、すべてマネしてかいて、先生に提出した
- 3 友だちのアドバイスを参考に絵をかいて、先生に提出した

○問題はない **A** | **B** ×問題がある

たんまつが動かなくなったときは

端末を使って何かを作っていると、どうしても端末に負荷がかかりやすく、フリーズしてしまうこともあります。そのようなときに、何度も強くタップしてしまうと故障の原因になることがありますし、大騒ぎしてしまうと他者の集中を阻害してしまうこともあります。「少し待ってみて、動かなければ再起動する」ということを実際に体験し、トラブル対応の基礎を身につけてほしいと思います。

つくる # 情報セキュリティ・トラブル対応 # 1つ選択 # 消費者 # 端末の破損

たんまつが動かなくなったときは

あなたがたんまつを使って発表しようを作っていると、とつぜんたんまつが動かなくなってしまいました。
次の行動の中から、あなたならどうするかを1つえらんでください。

- 1 動くまで、何度も強くタップしてみる
- 2 動くまで少し待ってみて動かなければさい起動をする
- 3 「動かない！」といて大さわぎする

※「さい起動」とは一度電機を切ってもう一度電機を入れ直すことです。

まとめ

端末を使って何かをつくる際には、著作権を意識する必要があります。著作権を侵害した場合は、10年以下の懲役または1,000万円以下の罰金（またはその両方）が科されることとなりますが、なぜそのような重い罰則かと言えば、それだけ新しいアイデアや作品をつくることを重視しているからです。ぜひ新しいアイデアや作品をつくることの重要性を考えさせてほしいと思います。

まとめ

絵や文章、写真などの作品について、つくった人以外に勝手にそれを使ってはいけないという権利のことを「ちよさくけん」と言います。
友だちの作品をマネしたり、ネット上の写真や文章を勝手に使うこともできません。どうしても使いたいときは、つくった人に使ってもよいかを聞くようにしましょう。

チェックしてみよう

- わたしは、スライドを上手にデザインすることができる
- わたしは、伝えたいことを整理して発表資料をつくることができる
- わたしは、作品をつくるときに、どんなことに気をつければよいかを知っている
- わたしは、たんまつが動かなくなったときに、きちんと対応することができる



はじめに

「交流する」では、ネットの特性、チャットを使って議論するときのマナー、相手から返事がない時の対応など、端末を使って交流するときの基礎的な内容を学びます。端末を使うと、クラスだけでなく世界中の人と交流することができます。ぜひ上手に使うスキルを身につかせ、子どもたちの学びの世界を広げてほしいと思います。

交流する

たんまつを使うと、クラスや学校内だけでなく、世界中の人とやり取りしたり、交流したりすることができます。

ここでは、たんまつを使って交流するときを知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。

ざいしょにチェックしてみよう

- わたしは、話す以外の方法で友だちと上手に交流することができると思う
- わたしは、意見を交流するときに、同じところちがうところを見つけることができると思う
- わたしは、メッセージをおくるときに、どんなことに気をつければよいかを知っていると思う
- わたしは、グループのチャットで返事がないときに、きちんと対応できると思う

B4

言葉を使わず上手に交流しよう

交流する # 活用スキル # 実技 # 消費者

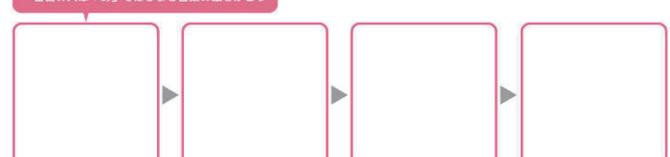
対面での会話やチャットでの会話では、自分の気持ちを言葉にして伝えることができます。もし、言葉を使わないで交流するとしたら、どのくらい交流が難しくなるのでしょうか。ここでは、言葉を使わないで交流する体験を通して、言葉を使わない交流の難しさに気づくとともに、言葉を使わないコミュニケーションの楽しさや多様性にも気づかせてほしいと思います。

言葉を使わず上手に交流しよう

友だちと言葉を使わず、絵だけで交流できるでしょうか？
絵でしりとりをしてみよう。

れい   

最初の人は「あ」ではじまる言葉の絵をかこう



同じところちがうところを見つけよう

交流する # 活用スキル # 2分類 # 消費者

ICT活用の大きなメリットのひとつが、「意見の交流のしやすさ」です。付箋などを使い、子どもたちが意見を出し、交流するという活用はよく行われると思いますが、その時に意識させたいのが、「同じところ」と「違うところ」です。たくさんの意見をただ見るのではなく、同じところや違うところに着目しながら見るスキルを身につけることがポイントです。

同じところちがうところを見つけよう

5人が同じ絵を見て、ふせんアプリで意見を交流しています。
同じような意見の入をさがしてみよう。



楽しそう A さとさんと同じような意見の入

かなしい感じ B たいちさんと同じような意見の入



共有する

これって悪口？

ネット上でのコミュニケーションでは、相手の顔が見えないため、対面の場合に比べて相手がどのような感情で話しているのかがわかりにくいという特徴があります。そのため、様々な誤解やトラブルも起きやすくなります。ここでは、スタンプの捉え方も人それぞれ違うということを意識させ、捉え方が違うとトラブルになり可能性があることを意識させます。

交流する # 情報モラル # 1つ選択 # 消費者 # 市民
コミュニケーショントラブル

これって悪口？

友だちから次のメッセージがときました。どのような気持ちで送ったと思いますか。次の4つのスタンプを送った友だちの気持ちを、「おもしろかった気持ち」「いじわるな気持ち」にわけましょう。

おもしろかった気持ち **A** | **B** いじわるな気持ち

返事がないときは

グループチャットで交流する場合、すぐに返事がない場合もあります。その場合、怒ったり、何度も連絡したりする前に、「少しの間待ってみる」ということも必要になります。そのためには、「なぜ返信ができないのか」という様々な状況をイメージさせることが重要です。相手の様子がわからないというネットの特性を意識させ、想像することの重要性を意識させます。

交流する # 情報セキュリティ・トラブル対応 # 1つ選択
消費者 # コミュニケーショントラブル

返事がないときは

あなたが、グループのチャットで調べ学習について話し合いをしていると、すぐに友だちからの返事がありませんでした。あなたはどのように対おうと思いますか。1つえらんでみましょう。

- 「なんで返事しないの？」と何度も聞いてみる
- 少しのあいだ、待ってみる
- 「はやく返事してよ！」と書きこむ

まとめ

端末を使うと様々な人と交流することができますが、顔が見えない相手との交流には便利さとともに難しさもあることに気づいてほしいと思います。特に、相手の顔が見えないと、自分の都合のよいように感情や状況を想像してしまいがちですが、いろいろな可能性を想像することの重要性に気づかせ、どのようなことに気をつけるとよりよい交流ができるかを考えさせてほしいと思います。

まとめ

たんまつを使うと、いろいろな人と交流することができます。しかし、顔が見えない相手と交流するときは、自分の気持ちが上手につわらないこともあります。相手のことを想おうしながら、交流するようにしましょう。

チェックしてみよう

- わたしは、話す以外のほうで友だちと上手に交流することができる
- わたしは、意見を交流するときに、同じところとちがうところを見つけることができる
- わたしは、メッセージをおくるときに、どんなことに気をつければよいかを知っている
- わたしは、グループのチャットで返事がないときに、きちんと対応できる



家で使う

はじめに

「家で使う」では、家庭でのルールの作成や自律的に守る方法、「学習の目的」の判断、トラブルを起こさないように使う方法など、家庭で端末を使うときの基礎的な内容を学びます。家庭では、教師や友達の目がないので、より自律的に端末を使うことが求められます。家庭でも上手に活用できるようになるように、保護者とも連携しながら取り組んでほしいと思います。

家で使う

たんまつは、学校だけでなく、家に持ち帰って使うこともできます。家で宿題をしたり、友だちといっしょに課題のつづきをしたりと、家でたんまつを使うことで、様々な学習を行うことができます。ここでは、たんまつを家で使うときに知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。

さいしよにチェックしてみよう

- わたしは、たんまつを家で使う時には、おうちのひと話し合ってルールを決め、ルールを守って使うことができると思う
- わたしは、たんまつを家で使うときには、計画を立てて使うことができると思う
- わたしは、たんまつを家で使う時には、「学習の目的き」で使うことができると思う
- わたしは、たんまつを家で使う時には、トラブルが起きないように使うことができると思う

94

家庭でのルールをつくろう

ここでは端末を使ってよい時間や場所について考えます。また端末を充電し忘れないための工夫や家に置き忘れないための工夫についても考えます。本教材については、学校だけでなく保護者との連携がカギになります。保護者と相談しながらルールを決めたり、守るための工夫を考えたりしながら、学校だけでなく保護者会などでも共有してみるとよいでしょう。

家で使う # 活用スキル # 自由記述 # 消費者

家庭でのルールをつくろう

おうちのひと話し合って、家にたんまつを持ち帰ったときの「家庭のルール」と「くふう」を考えましょう。

| 家庭のルール | |
|-----------------|-----------|
| ①たんまつを使ってよい時間は、 | 時 分 ~ 時 分 |
| ②たんまつを使ってよい場所は、 | |

| おうちのひと考えたルール | |
|--------------|---|
| ① | ③ |
| ② | ④ |

| くふう | |
|---|--|
| ①たんまつをじゅう電し わ すれないためのくふう | |
| ②たんまつを家におき わ すれないためのくふう | |

やることを計画してみよう

家庭で端末を上手に活用するためには、タイムマネジメントのスキルが必要になります。そのためには、1日をどのように過ごすかという「計画を立てる力」を育てる必要があります。本教材では、計画を立てる練習を通して、計画の重要性とともに、ふりかえり、改善することの重要性についても実感させます。計画通りにいかなかったことを反省させるのではなく、「なぜ計画通りにいかなかったのか」を分析させることを意識してほしいと思います。

家で使う # 活用スキル # 自由記述 # 消費者

やることを計画してみよう

あらかじめ「どんなことをやるか」、「どのくらいの時間でやるのか」を考えることを「計画」と言います。今日、家に帰ってからやることを計画してみましょう。

| | 午後4時 | 午後5時 | 午後6時 | 午後7時 | 午後8時 | 午後9時 | 午後10時 |
|--|------|------|------|------|------|------|-------|
| | | | | | | | |

1
おんがく・しやくし
勉強・宿題

2
まなぶ
習い事

3
きゅうけい・あそび
（ゲームなど）

4
おまつだい

5
ごはん

6
おふろ

7
あしたのじゅんぴ

8
すいみん

れい

勉強

習い

ごはん

おまつだい

あふろ

あしたの
じゅんぴ

すいみん

「未来を担う子どもたちにインターネットの楽しさを！」この思いから、1997年にYahoo!きっずが誕生しました。教育現場や家庭で広く活用していただくことで、正しいインターネット利用の促進や、子どもたちの未来の可能性を大きく広げるお手伝いができることを、目指しています。



コンテンツの一例



Yahoo!きっず検索

フィルタリングを行い、子どもたちにとって不適切なページが表示されない仕組みを導入しています。キーボードのタイピングに不慣れなお子さま向けに、マウスで言葉を選択できるソフトキーボードも用意しています。



マンガで学ぼうAIガイド

AI（人工知能）について、マンガを使って楽しく学べるコンテンツです。最近話題になっている生成AIを含めたAIのしくみや、身近な活用例、利用についての問題点などを掲載。ワークシートも用意しているので、授業でもご利用いただけます。



ココカラ学園

ココロとカラダのことを学べる「ココカラ学園」 「ココロ」や「からだ」を知ることは、生きていくためにとても大切なこと。教員の皆様向けのワークシートや動画もご用意しております。



他にも多数のコンテンツを用意しています。

<https://kids.yahoo.co.jp/>

やふーきっず

検索



AI Challenge

探究学習でAI活用人材を育成する

日本は超高齢社会・労働人口減少など、さまざまな社会課題を抱えており、これらを解決するためにソフトバンクでは、AI活用人材の育成に取り組んでいます。

AIチャレンジは、探究に求められる「発想力」「テクノロジー活用力」「実装力」の3つの力を身につけることで、これからのAI社会を牽引する次世代の担い手たちを育成する教材です。



ハルシネーションを回避

生成結果は参考の一つに過ぎず、最終的には自分で判断する

もっともらしい

嘘を見抜く

ファクトチェック

(生成された情報の真偽を確かめる)

- どの時点の情報が確認する
- 検索して事実を確認する
- 検算して数値を確認する

※ 他者が発信した情報のファクトチェックについては第2部で解説

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved. 58

AIチャレンジの各Unit内で積極的に用いる

ChatGPTを活用して探究的な学びのクオリティを高める

| | | |
|----------------------|----------------------|--------------------|
| AIチャレンジ AI活用実践コース | Unit 2 AI活用企画をつくる | 課題をロジックツリーでまとめる |
| | | プレゼンテーション資料をつくる |
| | Unit 3 AI構築を体験する | AI活用企画を講評する |
| | | 予測系AIのサンプルデータセット生成 |
| | Unit 4 AIを役立てる | 学習テーマに応じた確認問題と解説 |
| | | AI用語の解説 |
| | AI活用事例を学ぶ | プロジェクト推進アシスタント |
| | | ソースコードの解説 |
| | | システム評価アンケート項目の作成 |

Copyright © SoftBank Corp. All rights reserved. 3

AIを知る

社会で使用されているAIに関する知識を正しく備え、AIによって変化する職業や仕事について理解します。また、生成AIによるフェイク情報などトラブルの危険性に対し、ファクトチェックの方法とAI倫理を学びます。

AIを使いこなす

実際にAI構築環境を使用してAIをつくる体験と、社会課題に対してAI活用システムを企画・設計・実装・評価する一連の流れで、探究学習に必要なスキルの習得を行います。さらに、これらの活動の中で生成AIを活用し、個別最適な学習支援を得る方法を身につけます。



<https://www.softbank.jp/corp/sustainability/special/ai-challenge/>

全国统一 スマホデビュー検定



考えよう 家族みんなで スマホのルール

私たちは子供たちの
情報モラル育成に取り組みます



この検定は、スマホデビューする上でぜひとも知っておいてほしい知識を、身につけてもらうための検定です。

合格を目指し、ぜひ親子でチャレンジしてみてください！

受験はこちら！（受験料無料）



<https://ymobile.jp/s/Ew7uH>

監修者紹介



藤川大祐

千葉大学教育学部 教授・教育学部長
文部科学省「ネット安全安心全国推進会議」委員や内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」座長代理などを歴任。メディアリテラシー教育の第一人者。

問題のイメージ

00:21.90

インターネットを使っていたら、急にこのような画面が出てきました。そのときにすべきこととして正しいものを選んでください。



- A ウィルスを取り除くためすぐにダウンロードする
- B 画面に出ていた問い合わせ先にメールする
- C その画面を開いたままおうちの方に相談する

活用型情報モラル教材



ワークブック

ながさき



ビギナー

2024

活用の手引

GIGAワークブック ながさき
活用の手引

初 版

発 行 日 2024年3月31日

制 作 長崎県教育委員会
一般財団法人LINEみらい財団
静岡大学教育学部准教授 塩田真吾
常葉大学教育学部講師 酒井郷平
アラサキデザインスタジオ

協 力 ソフトバンク株式会社
LINE ヤフー株式会社

LINE みらい財団

SoftBank

YAHOO! きず
JAPAN

- ・本教材は、東京都教育委員会と一般財団法人LINEみらい財団との共同研究による成果物「SNS東京ノート」をベースとしてGIGAスクール構想に対応した内容を加えています。
- ・本教材の著作権は、一般財団法人LINEみらい財団が保有しています。
- ・本教材は、児童・生徒・保護者への啓発・教育を目的として、無償で提供する場合に限り、自由に利用することができます。これ以外での2次利用はおやめください。